

## 한통련 뉴스레터

제58호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284  
メール [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org) ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

## 정세 情勢

## ●韓米日軍事同盟の青写真…「北ミサイル情報」共有・「核協議グループ」構成



「核協議グループ」について発言する朴振外交部長官

## 「北ミサイル情報」共有

国防部のチョン・ハギョ報道官は5月22日の定例会見で、韓米日の3カ国首脳が前日に確認した北朝鮮(※正しくは朝鮮)のミサイル警戒情報の即時共有に向けた取り組みの継続に関し、「具体的な履行策について必要な協議を進めている」と答えた。

チョン氏は「韓米日3カ国は昨年11月の首脳会談後、北のミサイル発射の脅威に対する各国の探知能力向上のため、ミサイル警戒情報をリアルタイムで共有することで合意し、今年4月のDTT(防衛実務者協議)でもTISA(韓米日情報共有に関する国防当局間取り決め)を含む既存の枠組みを最大限に活用する方策を協議しており、その延長線と理解してほしい」と述べた。韓米日首脳は前日の会談で3カ国間の連携を新たなレベルに発展させることでも一致した。

一方、米国が核兵器を搭載できる戦略原子力潜水艦を韓国に派遣する時期を問われると、「韓米がワシントン宣言を土台に戦

略資産展開について必要な協議を進めている」と答え、詳細は明らかにできないとした。韓米首脳は4月下旬の首脳会談後に発表した「ワシントン宣言」で、拡大抑止強化の一つとして戦略原子力潜水艦の朝鮮半島展開を盛り込んだ。

## 「核協議グループ」構成

朴振外交部長官は5月23日、韓国新聞放送編集人協会がソウル市内で主催したフォーラムで、韓米が先月の首脳会談で新設に合意した拡大抑止に関する協議体「核協議グループ(NCG)」に日本が加わる可能性について、日本も米国の同盟国であり、北朝鮮の核・ミサイルに安全保障上の不安を抱えているため「協議してみることはできる」と述べた。

一方で「韓米が核協議グループを忠実に構築し、運営していくことが最優先だ」とも語り、まずは韓米間でのNCGの忠実な運営が必要だとの考えを示した。

夏にも開催が見込まれる米ワシントンでの韓米日首脳会談の議題に関しては、「北のミサイル挑発に対する警戒情報の即時共有をどう実現していくのか、3カ国の国防当局の発表があるだろう」と述べた。

## 朝鮮、「韓米日軍事同盟=NATO式核同盟」と批判

朝鮮中央通信は5月25日、「頻繁な米国の戦略資産の北東アジア地域への展開と3者合同軍事演習は、すでに軍事同盟のレ

ベルで堂々と実施されている」と主張。韓米が「核協議グループ」の創設を発表したのに続き、日本も参加しようとしているとして、「近く北大西洋条約機構（NATO）式核同盟に変貌する三角軍事連携の様相だ」と指摘した。

そのうえで、韓米日の3カ国が推進するミサイル警戒情報の共有について、「これにリアルタイムの3者情報共有という新しい機能まで追加されるということは、北東アジア地域に一つの神経中枢を持つ明白な米・日・南朝鮮（韓国）軍事同盟が出現することを意味する」と批判した。また、「強力な力で敵対勢力の誤った選択に絶望をもたらす」と警告した。

## 韓米日軍事同盟反対の声をあげよう

### ●福島汚染水、尹政権は視察団派遣で放流承認へ？…日本の放流方針は既定路線



福島原発を視察する視察団

#### 韓国視察団の派遣には合意

東京電力福島第1原発にたまる処理済み汚染水の海洋放出問題を巡り、日本に派遣される韓国の視察団について、外交部は5月9日の国会外交統一委員会に提出した報告書で、「独自に汚染水処理の安全性を重層的に検討・評価する機会が確保された」と説明した。外交部は視察団が汚染水関連施設を点検し、科学的・技術的な分析に必要な情報を把握する方針だと明らかにした。だが、西村康稔経済産業相は9日の記者会見で視察団について、汚染水の安全性の評価・確認を行うものではないと表明し、韓国側と異なる見解を示した。

尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領と岸田文雄首相は7日の首脳会談で、汚染水の

韓米日軍事同盟が当面してどのような姿をもととするのか、青写真が明らかになってきた。それは「韓米日3カ国のミサイル警戒情報のリアルタイム共有」と「韓米日3カ国の拡大核抑止協議体の構成」であり、準備を経て夏に開催される韓米日首脳会談で一定程度、発表されるだろう。

これは、米国が朝鮮半島を中心に北東アジアで常時、戦略資産を展開しながら北を威嚇し、韓米日が一体となって北のミサイルを探知・破壊、場合によっては先制打撃を加え、さらに北に大量報復する態勢を備えようとするものであり、朝鮮半島とその周辺の軍事緊張を「核戦争の危機」次元にまで高める危険極まりない動きだ。断固反対の声をあげていかなければならない。

海洋放出に対する韓国国民の懸念を踏まえ、韓国政府と機関の専門家らでつくる視察団を派遣することで一致した。

#### 視察団、福島原発を視察

韓国政府の視察団は25日、外務省、経済産業省、東京電力、原子力規制委員会との技術会議を最後に、日本での公式日程を終了した。視察団の団長を務める原子力安全委員会の劉国熙（ユ・グッキ）委員長は同日午後、外務省で記者団に対し「視察に関連する部分は早いうちにまとめ、説明する。今回の視察を通じて確認したこともあり、追加資料も要請した」と述べた。また「資料を受け取ってから分析し確認する作業を進めなければならない。この作業が終わってから最終的かつ総合的な評価内容を公開する」と説明した。21日に訪日した視察団は23日と24日の2日間、福島原発を視察した。

#### 広がる放流反対運動

第一野党「共に民主党」は26日、最高委員会議を開き、福島汚染水放出に反対し、世論喚起を図りながら政府に対する圧力を強めていくことを確認した。院内では

国会検証特別委員会構成を促す国会決議案の採択や視察団に対する聴聞会の開催などを推進し、院外では集会や署名活動を展開する方針。

環境運動連合が世論調査会社リサーチビューに依頼した世論調査（全国18歳以上の青年男女1000人を対象に19～22日に実施）の結果（25日発表）によると、85.4%が汚染水放流に反対と答え、性別・年齢・地域・政治志向（保守・中道・進歩など）に関係なく反対が圧倒的に多かった。

### 韓国政府は放流に反対し日本政府は放流を断念すべき

視察団について、韓国側は「安全性の検

討・評価の機会」としたのに対し、日本側は「安全性の評価・確認を行うものではない」と真っ向から否定。深刻な見解差だが、その後どうなったのかは不明だ。

尹政権の対日屈辱外交によりもたらされた「韓日正常化」の波は、予想通りあらゆる韓日懸案に広がっている。汚染水放流問題も視察団という形式行為を通じて、韓国側の譲歩を土台に日本側の主張がそのまま通る方向へと進んでいる。日本の放流方針は既定路線だ。

市民社会団体や漁業関連団体に加えて野党も反対に立ち上がった。国民の反対世論に依拠して汎国民的運動を展開し、日本の汚染水放流を断念させなければならない。

## ●激化する尹政権の労働弾圧…民主労総・300余団体共同行動、尹政権と全面对決



「ヤン・フェドン烈士闘争 労働市民社会宗教団体 共同行動」 結成記者会見

### 尹大統領、労働弾圧を公言

建設労組を中心に民主労総は5月16～17日、尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の労働弾圧に焼身抗議したヤン・フェドン烈士（建設労組幹部）の遺志を継いで1泊2日の大規模集会を開催、尹政権糾弾の声をあげた。

ところが尹大統領は23日の閣議で、この集会のためソウル都心の交通がまひしたと指摘し、「国民の自由と基本権を侵害し公共の秩序を崩壊させた民主労総の集会の形態は、国民にとって容認しがたい」と批判した。「わが政権はいかなる違法行為も放置、容認しない」と表明し、違法行為に

対する警察などの厳正な法の執行を指示した。

与党「国民の力」と政府関係部署の長官らは24日、国会で前日の尹大統領の発言を受けて対策を協議し、△民主労総などが「不法集会」を開催する状況が把握されれば、申告段階から集会・示威を制限する△深夜に集会を開催できないよう法改正を進める△公権力を行使する警察官に不利益が生じないようにする（※例えば、強制鎮圧により被害者が生じ警察官が処罰されるようなケースを想定）ことを明らかにし、「集会および示威に関する法律（集示法）」の改定を進めるとした。

### 共同行動結成、弾圧反対に立ち上がる

李在明（イ・ジェミョン）「共に民主党」代表は集示法改定に対し「国民の口をふさごうとしても失政は隠せない」と批判。民主労総は「1泊2日の集会をやり玉にあげて集会と示威を制限しようとするものだ」と糾弾した。

25日には、民主労総を含む300余団体が結集した「ヤン・フェドン烈士闘争労働市民社会宗教団体 共同行動」の出帆記者会見がソウル大病院前で行われた。共

同行動は△ヤン・フェドン烈士の名誉回復と遺族への謝罪△建設労組弾圧中止△元喜龍（ウォン・ヒリョン）国土交通部長官と尹熙根（ユン・ヒグン）警察庁長の罷免△朝鮮日報の歪曲報道中止と謝罪を要求した。朝鮮日報はヤン・フェドン烈士の焼身抗議を同僚がほう助したと歪曲報道、月刊朝鮮はヤン・フェドン烈士の遺書は代筆だと虚偽報道し、厳しく批判されていた。また毎水土曜日にソウル都心でキャンドル集会を開催するとし、6月10日に全国各地での大規模なキャンドル集会を予告した。

## 労働・公安弾圧を繰り広げる尹錫悦検察独裁は退陣しろ

尹政権の労働弾圧はとどまるところを知らない。民主労総の1泊2日の集会を取りあげて「国民の自由と基本権を侵害し公共

の秩序を崩壊させた」不法集会と一方的に断じ、取り締まりの名の下に弾圧に乗り出ただけでなく、憲法で保障された「集会の自由」に全面的に反する集示法の改悪まで進めようとしている。

公安弾圧も昨年秋から長々と続いている。23日には国情院など公安当局が、進歩党の前共同代表と全教組江原支部長に対し国家保安法違反容疑で無差別の家宅捜索を繰り広げ、国家保安法廃止国民行動と公安弾圧阻止対策委は24日、警察庁前で糾弾の記者会見を開いた。朝鮮日報は「スパイ事件」と煽る記事を掲載した。

反対勢力を法の名の下に弾圧し一掃しようとする尹錫悦検察独裁。そして法は恣意的に解釈され時には改悪まで企図される。民主主義を破壊する尹政権は退陣しなければならない。

## 활동보고 活動報告

### ● 都内で討論集会「日韓『政治決着』のその先へー強制動員問題の解決を求めて」を開催



発言する金英丸 対外協力室長

「強制動員問題解決と過去清算のための共同行動」と「ノー!ハプサ」は5月27日、都内で討論集会「日韓『政治決着』のその先へー強制動員問題の解決を求めて」を開催した。

韓国から太平洋戦争被害者補償推進協議会の李熙子（イ・ヒジャ）共同代表があいさつ。26日に判決が出たノー!ハプサ(合祀)2次訴訟控訴審について報告した。「原告の主張が一切受け入れられない不当判決だ」とし、日本政府に謝罪を要求した。

討論集会では民族問題研究所の金英丸（キム・ヨンファン）対外協力室長、ジャーナリストの青木理氏、小説家の中沢

けい氏が登壇。強制動員問題解決にむけて意見交換した。

金室長は尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権が提案した強制動員問題「解決策」について「韓国国内では厳しく批判されている」と指摘。背景として米国主導による韓米日軍事同盟の強化をあげ「今回のことで戦後補償問題は終わらない。尹政権退陣も視野にいれながら、最後まで闘っていきたい」と語った。

青木氏は日本の右傾化について「安倍政権以降、日本の政治、社会が大きく右傾化した。嫌韓感情、ナショナリズムが浸透している」と述べ、「日本の韓国に対するかたくなさは弱さの証明だ。きちんと向き合うべきだ」と語った。

中沢氏は「この間、朝鮮人労働者の足跡を訪問したが、日本政府は群馬の朝鮮人労働者慰霊碑など、植民地の痕跡を消し去ろうとしている」と批判。「植民地支配の清算は現在、世界的テーマとなっており、日本は機会を逃すべきではない」と語った。

質疑応答後、金室長は「強制動員問題は

1965年の韓日条約体制を守ろうとして  
いる人たちと、私たちとの対決だ。この問  
題は政治決着で終わらない。今日の集会を

今後の一步を踏む出す契機としていき  
たい」と決意を語った。

#### ■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップして  
います。また、講演や集会の写真、動画などは韓統連インスタグラム、韓統連ユーチューブ  
チャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連ユーチューブチャンネル

[https://www.youtube.com/channel/  
UCg\\_8NZg52O1VTAMIgrXfqIQ](https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMIgrXfqIQ)

韓統連インスタグラム

[https://www.instagram.com/korea\\_htr/?  
hl=ja](https://www.instagram.com/korea_htr/?hl=ja)



## 행사예정 行事予定

6月

### 第6回尹錫悦政権糾弾集会(東京)

日時: 6月10日(土) 午後5時30分 場所: 新宿駅西口地下イベント広場 主催: 東京民主実践連帯 連絡先: 090-4298-6113 (李)

### 韓統連セミナー(大阪)

日時: 6月11日(日) 午後1時30分受付、午後2時開会 場所: KCC会館 内容: 「尹政権の対北政策と公安政局」～時代の逆行を許してはならない～ (講師: 金昌五(キム・チャンオ) 韓統連大阪本部副代表委員) 参加費: 800円 主催: 韓統連大阪本部 連絡先: 090-3822-5723 (チェ)

### 朝鮮戦争停戦70周年 停戦70年を平和協定の元年に! 6・16大阪集会

日時: 6月16日(金) 午後6時受付、午後6時30分開会 場所: PLP会館中会議室 内容: 韓国「停戦70年 朝鮮半島平和行動」から招請(予定) 参加費: 1000円 主催: 日韓平和連帯 連絡先: 06-6583-5549 (全日建運輸連帯労組近畿地方本部)

編集後記

6月になりました。6月は6月民主抗争、6.15南北共同宣言と、韓国の民主化、祖国統一にむけた重要な契機となった出来事があった月です。現在の情勢は厳しいですが、先人たちの闘いをしっかりと胸に刻み、前進していきたいと思えます (李)